

令和3年4月16日

国立大学法人東京工業大学の研究データポリシー

東京工業大学（以下「本学」という。）は、広く理工学分野における研究者及び教育者、さらには産業界における技術者及び経営者として指導的役割を果たすことのできる、善良・公正かつ世界で活躍する人材を育成する目標のもと、教育及び研究活動の水準を高め、もって文化の進展に寄与し、人類の福祉に貢献することをその目的及び使命として定めている。そのため、本学の真摯な研究過程に基づく多様な研究成果を適切に保存・管理し、本学の将来への資源とするとともに、可能な限り利活用を図り、社会と共有することで、本学の発展はもとより、豊かな未来社会の実現に貢献する。

以上の理念のもと、本学における研究データの保存・管理及び利活用に関する基本方針を示した研究データポリシーを以下のとおり定める。

1. 研究データの定義

本ポリシーが対象とする「研究データ」とは、本学における研究活動において取得または生成された情報を指し、デジタルか否かを問わない。

2. 研究に携わる者の責務

2-1. 研究データの保存・管理

法令や関係する学内外の規則等を遵守し、研究データを適切に保存・管理する。

2-2. 研究データの利活用

自らが保存・管理する研究データについて、利活用を促進するよう努める。ただし、法令や関係する学内外の規則等で制限されるものを除く。

2-3. 方法

研究データの保存・管理方法及び利活用の方法を自ら決定できる。その際、研究データの機械可読性や相互運用性等に配慮する。

3. 大学の責務

本学は、研究データの保存・管理及び利活用を支援する環境の整備を推進する。